

名古屋市会議員 活動報告②1

田山ひろゆき



◆名古屋市議報酬を巡る動き

2009年4月	河村たかし市長が初当選。11月に報酬半減(年額800万円)を提案
10年8月	市長の支援団体が議会解散請求の署名を開始
11～12月	市長が知事選にあわせて、辞職を表明。報酬半減案は5度目の否決。署名は、法定数をクリア
11年2月	市長選、知事選、議会解散を問う住民投票で3勝し、河村市長は再選され、市議会は解散
3月	市議選で減税日本が28議席を獲得し、第1党に躍進
4月	市議報酬を当面の間、特例で年800万円に半減することを全会一致で決定。月額報酬は50万円に
13年4月	市長が3選
15年4月	市議選で自民が第1党に。減税日本は12議席にとどまる
10月	議会側が、市長に報酬審に市議報酬見直しを要請するも、拒否される
16年2月	自民、民主、公明が、報酬654万円の増額提案を決める

「市議員様が一気に給料を650万円も上げようとする。市民の皆さんは会社員じゃ考えられない。怒り立ち上がらなアカン」と河村市長は14日、米など市内3か所で街頭に立ち、21日と呼び掛ける予定だ。報酬800万円は「市民並み給与」で、市民税減税と並ぶ市長の主要公約。市議会は解散(リコール)を主導し、出直し市議選では、自ら率いる減税日本が最大会派となり、各党に報酬半減を受け入れさせた。

演説を聞いた同市緑区の会社員男性(38)は「自分で給料を上げられるなんて、市議員は20政令市で最低だ。ある自民のベテラン議員の手取り額が約37万円。ここから社会保険料や生活費を引いて、政治活動費も捻出する。この5年、育て世代はもっと大変で、このままでは議員のなり手がなくなると嘆いた。

名古屋市議 報酬増額案

名古屋市議の報酬を年800万円から654万円引き上げて1,454万円にする自民、民主、公明3会派の増額案に、河村たかし市長が猛反発している。3会派は市長の「拒否権」を封じる勢力を確保しているが、市長は金看板の「報酬800万円」を維持しようとして、徹底抗戦の構えだ。

市長反発 世論に訴え

◆人口など規模の近い政令市議報酬の比較

	条例上の月額	特例上の月額	ボーナスを含む年額
名古屋	99	50 84(引き上げ後)	800 1454
横浜	95		1629
京都	96	86	1468
大阪	88	77	1345
神戸	93		1567
仙台	84	81	1331
広島	86	81	1412
愛知県	97		1606

※名古屋市調べ(月額は今年1月1日現在、年額は今年度末見込み)。単位は万円、千円以下は切り捨て

平成28年2月21日
読売新聞より抜粋

年1450万円妥当？高い？

《市長との街頭演説》

2月より、名駅、栄、大須、金山などで毎週実施しています。市長と共にマイクを握り、報酬1,450万円に引き上げ断固反対、800万円維持を訴え続けてまいります。



本会議での質疑(3月定例会)

「議員報酬を現状の800万円から1,450万円に改定する条例」に対する質疑主旨。断固反対。

質疑1: 自民・民主・公明の3会派から提出された議員報酬条例において、年額1,450万円とすることが名古屋市民の民意であると認識されているのか。

質疑2: 名古屋市議会基本条例において議員の報酬を決めるときは民意を聴取するための制度、たとえば第三者機関を活用すべきであるが、なぜ活用していないのか。

質疑3: 報道機関のアンケートでも約9割の市民がこの議員報酬1,450万円条例に反対している事。自民・民主・公明の皆さんが昨年の選挙時に新聞社のアンケートに議員報酬は民意(第三者機関等)に委ねると回答されている事。を尊重するべきではないか。



名古屋市会議員
田山ひろゆき
事務所

- 事務所 / 〒462-0841 名古屋市北区黒川本通4-23
- 電話 / 052-911-1736
- FAX / 052-911-1760
- Eメール / tayama@zb4.so-net.ne.jp

名古屋市議員 田山ひろゆき

2016年(平成28年)1月7日(木曜日)

応援してちょうよ!!



河村市長

いじめ・不登校などの課題解決のため早急な対応が必要です。教員と外部の専門家や地域の方たちが協力し、子どもたちを見守る仕組みづくりを本格化させます。

全110中学に常勤カウンセラー

市教委前倒しで計画

名古屋市教委は6日、児童・生徒のいじめや不登校に専門家が対応する「なご子ども応援委員会」を拡充し、(一〇)一九年四月までに、市内の全百十中学校に常勤スクールカウンセラー(S.C.)を配置する計画案をまとめた。市教委と河村たかし市長が教育課題を話し合う総合教育会議で概要が示され、市長は「ぜひ早急にと求めた」。

応援委員はS.C.やソニー、年四月に発足し、市内人の児童・生徒の問題にシャトルカー、教員百十中学校のうち拠点二校に、初年度の全対OBらがチームで学校十一校に置かれてい。応数の一・三倍に上りに常駐し、子どもの悩める。一五年度は昨年十た。

みに対処する名古屋市月未までに、近隣小中、このうち常勤S.C.は独自の取り組み、一四学校を含め六百七十三、初年度十一人でスタート。

河村市長は「一六年度からの常勤S.C.の全校配置を唱える。この日の会議では「カウンセラー」など専門家は人材供給の課題もある」と指摘。子ども応援委員の活動に連携教諭らも巻き込む形で「教料を受け持っていない専門家らが早急に全校配置される体制を」と述べた。

強化を急ぐこととし、一方、増員には優秀な人材確保が必要で、河村市長は「専門のプロジェクトチームをつくって進めてほしい」と要請。市教委は名古屋市立大と連携し、カウンセラー養成講座を設けるなどの取り組み方針を示した。

市教委はこれとは別に、教員と応援委員をつなぐ「コーディネーター」役を新たに導入することを検討。生徒指導主事を充て、仕事量が増えた分は非常勤講師の配置などで補う方向という。

河村市長は「一六年度からの常勤S.C.の全校配置を唱える。この日の会議では「カウンセラー」など専門家は人材供給の課題もある」と指摘。子ども応援委員の活動に連携教諭らも巻き込む形で「教料を受け持っていない専門家らが早急に全校配置される体制を」と述べた。

2019年4月までに全110中学校に配置
スクールカウンセラー
スクールアドバイザー
スクールリスナー

2017年4月から開始
コーディネーター
生徒指導主事ら
連携強化へ
学校の教員
応援委員
児童
生徒
保護者

子ども応援委員の拡充計画が示された総合教育会議＝市役所で

なご子ども応援委員会の拡充計画案

《特別委員会視察》

2月1～2日、公社対策特別委員会の行政視察で大阪市・京都市を訪れました。

大阪市役所議事堂、大阪市立大学、京都市コンサートホール、京都市役所等を視察し、意見交換等を行いました。

大阪市立大学にて視察会議



《城北学区防災訓練》

大勢の方にご参加いただきました。城北小学校体育館にて(2月7日)



大阪市役所議事堂



クリック

田山ひろゆき

検索

田山ひろゆき 経歴

- | | |
|------------------------|----------------------------------|
| 昭和33年 三重県伊賀市生まれ | 平成23年3月 名古屋市議員初当選(北区) |
| 昭和58年 名古屋工業大学卒業 | 平成23年 幹事長、議会運営委員会委員長 |
| 昭和58年 ㈱リクルート入社、名古屋支社配属 | 平成24年 副議長(第95代) |
| 昭和63年 課長昇進(29歳) | 平成26年 幹事長 |
| 平成5年 「年間最優秀経営者賞」 | 平成27年 名古屋市議員再選(2期目) 現在副団長、党政策委員長 |